

# society&business Tokyo25 journal

# 25 journal

執筆協力 編集室システムU okamura.nobuyoshi@gmail.com

## 地域との交流、理解を願って 福生のれんげ園 ダイハツ創業祭で模擬店

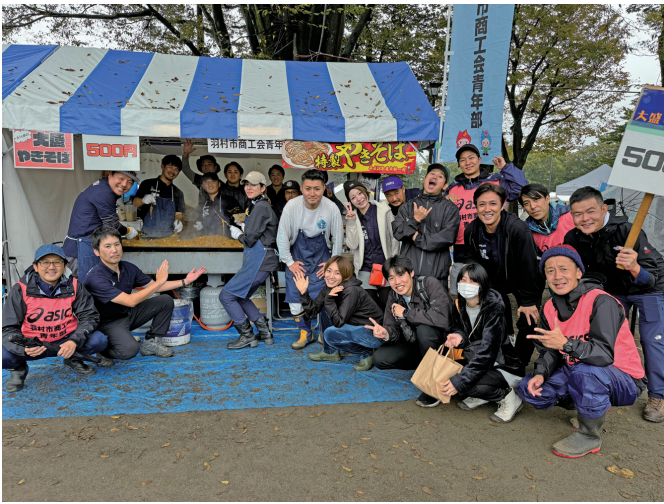


オリジナル製品のクッキーや布小物を販売し、地域と交流

福生市社会福祉協議会が運営する生活介護事業所れんげ園(福生市南田園)が10月13日、ダイハツショップ福生田園(同市北田園)の大創業祭に模擬店を出し、オリジナル製品

余暇活動などのサービスを提供。現在、16人が通所している。利用者の自立と社会参加、福祉の増進につながる創作活動では、職員と共にクッキーや布小物を作っている。製品は12月に開催される「ふくふくまつり」や7月の福生七夕まつりで販売される。同園は、知的障害を持つ人の生活の改善、機能の維持向上等を目的に、機能訓練や創作、小物入れ、バッグなど

まつりを盛り上げた羽村市商工会青年部の皆さん



## 来場者の胃袋つかむ 羽村市商工会青年部 伝統の焼きそば 大きな鉄板で豪快に1度に50人前

「はむら市民と産業のまつり2024」が

11月2日・3日、S&Dスポーツパーク富士見(羽村市緑ヶ丘)で開催され、多くの市民でにぎわった。新鮮野菜の即売や、地元グルメの出店が軒を並べる中、来場者の胃袋をつかんだのが羽村市商工会青年部の焼きそば。代々の部員たちが守ってきた30年以上続く伝統の味だ。肉や野菜をいっぱい入れ、1度に50人前をぶ厚い鉄板、強い火力で焼き上げるから旨い!! 写真。130センチ×80センチの特注の鉄板も火力の強いガスも部員の業者から調達した。大盛で1パック500円。焼きそば委員会の副委員長で2日の現



## 情報提供、掲載広告募集

地域の話題や課題、身近な出来事、活性化につながる取り組みなどの情報を提供ください。取材に伺います。また、掲載広告を随時募集します。「街プレ」は発行部数5万部、WEB展開や姉妹メディアの西多摩経済新聞を含め地域住民の皆さんにニュースをお届けしています。連絡は090(8460)9688編集部・岡村まで。

## 千葉卓三郎の偉業を顕彰



### タクロン・チーバー普及協会

### 小説『卓論伝』を出版

本書を千葉卓三郎顕彰の紙碑としたい——羽村市を中心に活動するタクロン・チーバー

卓三郎と五日市憲法」である。背景には、このところ続く著名人の「墓じまい」がある。出身地に近い仙台市内の名刹・資福寺にあった千葉の墓所も同様で、わたらに建てられていた墓をしめす標柱も撤去された。このことは地元紙の『河北新報』などでも大きく伝えられていた。同会の羽村幸子さんもそれを知人から聞く。「残念には思っていたもののこればかりは致し方ないこと」としながらも、何か自分たちにできることを、仲間の関美智子さんと考えた結果が今回の出版だ。岡村さんは「卓三郎の人権意識と反骨精神は刮目すべき。10年前の作品が、仙台市の出版社・荒蝦夷から復刊できたことはうれし

## 原種シクラメン 植栽広がる

シクラメンの生産量が都内随一を誇る瑞穂町で10月22日、原種シクラメンの植え付けが行われた。「みずほエコパーク」(同町箱根ヶ崎)に生産者や町職員、JAにしたま、西多摩農業改良普及センターの職員らが参加、4200株を植えた!! 写真。「原種シクラメンを公園内で群生させ、町に新たな名所をつくりたい」という生産者の発案により植栽は

## 「みずほエコパーク」の新名所



2020年秋に始まった。今年はおよそ30平方メートルの植栽地に、ともに欧州原産の「ヘデリフォリウム」、「コウム」のほか、初めて中近東・地中海原産の「ヘデリフォリウム」が開花を迎え、可憐な花を付けた。冬になると「コウム」が、春先には「ベルシカム」が開花を迎える。同JAの坂本菜美さんは「これだけ大きな規模で植栽された原種シクラメンを見られる場所は珍しい。パークを訪れた際は立ち寄って見てほしい」と話す。